

〔1〕本部事務局

1 法人運営の状況

(1) 役員の変更

ア 前任者の辞任に伴う理事の選任について、評議員会の決議を経て次のとおり選任した。

(理事)

氏名	選任年月日	備考
加藤 るり子	平成31年 4月 1日	大分県社会福祉事業団大分県糸口学園長

イ 業務執行理事の選定を理事会の決議を経て次のとおり行った。

(業務執行理事)

氏名	選定年月日	備考
加藤 るり子	平成31年 4月 1日	大分県社会福祉事業団広報担当理事

ウ 任期満了に伴う理事及び監事の改選について、評議員会の決議を経て次のとおり選任した。

(理事)

氏名	選任年月日	備考
首藤 忍	令和元年 6月28日	大分県社会福祉事業団理事長
青木 繁	令和元年 6月28日	大分県社会福祉事業団副理事長
穴井 貴雄	令和元年 6月28日	大分県社会福祉事業団常務理事兼事務局長
川野 義人	令和元年 6月28日	大分県社会福祉事業団理事 有料老人ホーム桜手鞠施設長
銅城 義則	令和元年 6月28日	大分県社会福祉事業団理事兼総務企画部長
加藤 るり子	令和元年 6月28日	大分県社会福祉事業団理事兼大分県糸口学園長

(監事)

氏名	選任年月日	備考
伊勢 強志	令和元年 6月28日	NPO法人おおいた子ども支援ネット理事
矢部 正秋	令和元年 6月28日	税理士法人プロパートナー 税理士

エ 任期満了に伴う理事長の選定を理事会の決議を経て次のとおり行った。

(理事長)

氏名	選定年月日	備考
青木 繁	令和元年 6月28日	大分県社会福祉事業団理事長

オ 業務執行理事の選定を理事会の決議を経て次のとおり行った。

(業務執行理事)

氏名	選定年月日	備考
穴井 貴雄	令和元年 6月28日	大分県社会福祉事業団常務理事兼事務局長
銅城 義則	令和元年 6月28日	大分県社会福祉事業団理事兼総務企画部長
加藤 るり子	令和元年 6月28日	大分県社会福祉事業団広報担当理事

カ 定款第24条第1項及び第2項並びに第3項に基づき、当法人に名誉会長をおくこととし、令和元年6月28日開催の理事会の決議を経て、次のとおり委嘱した。

(名誉会長)

氏名	委嘱年月日	備考
首藤 忍	令和元年 6月28日	大分県社会福祉事業団前理事長

キ 前任者の辞任に伴う監事の選任について、評議員会の決議を経て次のとおり選任した。

(監事)

氏名	選任年月日	備考
蔵前 達郎	令和元年 9月27日	大分総合会計事務所代表社員・税理士

(2) 理事会の開催

ア 平成31年度第1回理事会

開催日 平成31年 4月 1日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

審議事項
・業務執行理事の選定について
・平成31年度年間主要事業計画(案)について

イ 令和元年度 第2回理事会

開催日 令和 元年 6月14日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

審議事項
・平成30年度事業報告及び決算報告について
・現役員の任期満了に伴う新役員(理事・監事)の選任について
・定款の変更について
・日田市NTT城町社宅の土地及び建物の購入について
・定時評議員会の日程及び附議する議案について

報告事項
・監査報告について
・社会福祉充実残額について
・理事長専決事項について

- ウ 令和元年度 第3回理事会
開催日 令和 元年 6月28日
開催場所 大分県総合社会福祉会館
審議事項
・理事長の選定について
・業務執行理事の選定について
・名誉会長の委嘱について
・令和元年度第1回補正予算（案）について
報告事項
・日田市におけるグループホームの今後の方向性について
- エ 令和元年度 第4回理事会
開催日 令和 元年 9月13日
開催場所 アートホテル大分
審議事項
・監事1名の選任について
・評議員選任・解任委員会委員の選任について
・令和元年度主要事業の進捗状況について
報告事項
・県西部圏域における事業展開について
- オ 令和元年度 第5回理事会
開催日 令和 元年10月25日
開催場所 大分県総合社会福祉会館
審議事項
・給与規則の改正について
・令和元年度第2回補正予算（案）について
・放課後等デイサービスどんぐり3（中津市）の土地の無償譲渡について
報告事項
・地域総合支援センター職員による虐待案件について
・九重町におけるグループホーム整備の進捗状況について
- カ 令和元年度 第6回理事会
開催日 令和 2年 1月17日
開催場所 アートホテル大分
審議事項
・令和元年度主要事業の進捗状況について
報告事項
・九重町におけるグループホーム整備の進捗状況について
・地域総合支援センターにおける虐待事案について（経過報告）
- キ 令和元年度 第7回理事会
開催日 令和 2年 3月11日
開催場所 大分県総合社会福祉会館
審議事項
・諸規則の改正について
・施設長等の任免について
・令和元年度第3回補正予算（案）について

- ・令和2年度事業計画及び当初予算（案）について
- ・令和元年度第3回評議員会の日程及び附議する議案について
- 報告事項
- ・九重町におけるグループホーム整備の進捗状況について
- ・地域総合支援センターにおける虐待事案について（最終報告）

(3) 監事の監査

- 開催日 令和 元年 6月 5日
- 場 所 大分県総合社会福祉会館
- 内 容 平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度における理事の業務執行の状況及び財産の状況について

(4) 評議員会の開催

ア 令和元年度定時評議員会

- 開催日 令和 元年 6月28日
- 開催場所 大分県総合社会福祉会館
- 審議事項
- ・現役員の任期満了に伴う新役員（理事・監事）
- ・定款の変更について
- 報告事項
- ・監査報告について
- ・平成30年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録について
- ・日田市NTT城町社宅の土地及び建物購入について

イ 令和元年度第2回評議員会

- 開催日 令和 元年 9月21日
- 開催場所 書面決議（決議の省略手続き）
- 審議事項
- ・監事1名の選任について

ウ 令和2年度第3回評議員会

- 開催日 令和 2年 3月16日
- 開催場所 中止（新型コロナウイルス感染拡大防止策によるもの）
- 報告事項
- ・令和2年度事業計画及び当初予算について
- ・九重町におけるグループホーム整備の進捗状況について

(5) 監事との意見交換会の開催

- 開催日 令和 元年 9月13日
- 開催場所 アートホテル大分

- 開催日 令和 2年 1月17日
- 開催場所 アートホテル大分

(6) 経営推進会議

ア 第23回(平成31年 4月)経営推進会議

開催日 平成31年 4月22日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・平成30年度主要事業の状況について
 - ・平成31年度(令和元年度)主要事業の進捗状況について
 - ・大分県社会福祉事業団広報活動の方向性について
 - ・経営の強靱化を検討する会議について
 - ・所属長との経営面談計画について

イ 第24回(令和 元年 5月)経営推進会議

開催日 令和 元年 5月20日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和元年度主要事業の進捗状況について
 - ・適正な職員配置に関する検討方針及び元年度職員採用試験予定者数について
 - ・日田はぎの園(はぎのホーム)の事業展開について

ウ 第25回(令和 元年 6月)経営推進会議

開催日 令和 元年 6月24日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和元年度主要事業の進捗状況について
 - ・令和元年度職員採用について
 - ・令和元年度定時評議員会について

エ 第26回(令和 元年 7月)経営推進会議

開催日 令和 元年 7月17日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和元年度主要事業の進捗状況について
 - ・有料老人ホーム立入検査の結果について
 - ・理事長、常務理事兼事務局長、理事兼部長が出席する夏の行事等について

オ 第27回(令和 元年 8月)経営推進会議

開催日 令和 元年 8月22日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和元年度主要事業の進捗状況について
 - ・令和元年度事業実践検討会(前期)状況について
 - ・有料老人ホーム立入検査の是正状況について

カ 第28回(令和 元年 9月)経営推進会議

開催日 令和 元年 9月24日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和元年度主要事業の進捗状況について
 - ・適正な職員配置について
(第4回人事管理・給与制度検討委員会での検討状況)
 - ・ナチュラルエイト(レストラン部門)の料金改正について

キ 第29回(令和 元年10月)経営推進会議

開催日 令和 元年10月18日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和元年度主要事業の進捗状況について
夏季期間における休暇取得状況
令和元年度職員(総合職)採用試験の総括
 - ・令和2年度予算編成にかかる事業方針について
 - ・令和元年度第2回経営改革推進委員会について
令和元年度人事管理・給与制度検討委員会からの答申について
令和元年度第5回理事会について
給与規則の改正について
令和元年度第2回補正予算(案)について
放課後等デイサービスどんぐり3の土地の無償譲渡について
 - ・地域総合支援センターにおける虐待事案について

ク 第30回(令和 元年11月)経営推進会議

開催日 令和 元年11月18日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和元年度主要事業の進捗状況について
 - ・地域総合支援センターにおける虐待事案の経過について

ケ 第31回(令和 元年12月)経営推進会議

開催日 令和 元年12月18日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和元年度主要事業の進捗状況について
 - ・第6回理事会及び監事との意見交換会について

コ 第32回(令和 2年 1月)経営推進会議

開催日 令和 2年 1月24日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和元年度主要事業の進捗状況について
 - ・どんぐり河内について(総括)
 - ・グループホーム「ちゃれんじ」「きぼう」について(総括)

サ 第33回（令和 2年 2月）経営推進会議

開催日 令和 2年 2月21日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和元年度主要事業の進捗状況について
 - ・令和元年度事業実践検討会（後期）
 - ・第6期大分県社会福祉事業団中長期計画について
 - ・平成31（令和元年）の年休取得状況について
 - ・令和2年度職員研修の方向性について

シ 第34回（令和 2年 3月）経営推進会議

開催日 令和 2年 3月16日

開催場所 大分県総合社会福祉会館

- 審議事項
- ・令和元年度主要事業の進捗状況について

2 事務局業務の状況

設置経営している施設及び事業所等の適正な運営、業務の合理化・効率化及びご利用者サービスの質の向上等に努めた。

(1) 会議等の開催

事業団の自立的かつ自主的な事業運営を円滑に推進するため、所属長会議等を定期的に開催した。

また、事業計画の実施状況等を確認、その内容を精査し、業務遂行上の課題を抽出、検証等を行うことで、ご利用者サービスの向上・安全確保、在宅福祉サービスの強化につなげるため、所属長経営面談座会及び各所属ごとに本部事務局と事業実践検討会を実施した。

その他、全国社会福祉事業団協議会等が、開催する各種会議への参加を通じて、福祉にかかる情報収集等を行い、当該情報の各所属への発信に努めた。

ア 所属長会議等の開催状況

会議名	開催年月日	会議名	開催年月日
所属長会議	平成31年 4月 5日	副所属長会議	令和元年10月31日
	平成31年 4月26日	管理課長・書記会議	平成31年 4月19日
	令和元年 5月24日	サービス管理責任者会議	令和2年 2月10日
	令和元年 6月28日		
	令和元年 7月26日	管理栄養士会議	令和元年 8月23日
	令和元年 8月26日	調理員会議	令和2年 2月18日
	令和元年 9月27日	親なきあと相談支援者連携会議	令和2年 2月 6日
	令和元年10月25日		
	令和元年11月27日		
	令和元年12月20日		
	令和2年 1月31日		
	令和2年 2月28日		
令和2年 3月27日			

イ 所属長経営面談座会の開催状況

施設名	実施日	施設名	実施日
地域総合支援センター	令和元年 7月 6日	糸口通勤寮	令和元年 7月11日
	令和元年 9月 6日		令和元年 9月10日
	令和元年12月 6日		令和元年12月17日
	令和 2年 2月25日		令和 2年 2月27日
溪泉寮	令和元年 6月12日	なおみ園	令和元年 7月 9日
	令和元年 8月 7日		令和元年 9月 9日
	令和元年10月 8日		令和元年12月 5日
	令和 2年 2月17日		令和 2年 2月25日
のぞみ園	令和元年 6月13日	日田はぎの園	令和元年 6月11日
	令和元年 8月19日		令和元年 8月 8日
	令和元年10月 9日		令和元年10月 7日
	令和 2年 2月14日		令和 2年 2月19日
糸口学園	令和元年 7月11日	地域生活支援センターはぎの	令和元年 6月11日
	令和元年 9月10日		令和元年 8月 8日
	令和元年12月10日		令和元年10月 7日
	令和 2年 2月21日		令和 2年 2月20日
糸口厚生園	令和元年 7月10日	八つ星の丘	令和元年 6月13日
	令和元年 9月11日		令和元年 8月 6日
	令和元年12月13日		令和元年10月 9日
	令和 2年 2月14日		令和 2年 2月17日
糸口第二厚生園	令和元年 7月10日		
	令和元年 9月11日		
	令和元年12月17日		
	令和 2年 2月27日		

ウ 事業実践検討会の実施状況

施設名	実施日	施設名	実施日
地域総合支援センター	令和元年 6月18日	糸口通勤寮	令和元年 7月25日
	令和元年11月27日		令和元年12月19日
溪泉寮	令和元年 7月24日	なおみ園	令和元年 7月16日
	令和 2年 1月 7日		令和元年12月12日
のぞみ園	令和元年 7月 2日	日田はぎの園	令和元年 7月30日
	令和元年12月16日		令和 2年 1月 8日
糸口学園	令和元年 7月 3日	地域生活支援センターはぎの	令和元年 7月31日
	令和元年12月 3日		令和 2年 1月30日
糸口厚生園	令和元年 6月19日	八つ星の丘	令和元年 6月 6日
	令和元年12月 4日		令和元年12月23日
糸口第二厚生園	令和元年 7月 4日		
	令和元年12月24日		

エ 全国社会福祉事業団協議会主催の会議等への参加状況

開催年月日	会議種別	場所	参加人員
令和元年 7月18日～19日	九州ブロック会議及び職員研修会	北九州市	3人
令和元年11月 7日～ 8日	全国社会福祉事業団大会	徳島市	5人
令和元年11月28日～29日	九州ブロック職員研修会	別府市	46人

(2) 表彰の状況

ア 永年勤続表彰

職員として、在職期間が20年以上で勤務成績が良好な者に対し表彰状を授与した。

○理事長表彰状

地域生活支援センターはぎの	地域課長	矢野和彦
大分県溪泉寮	主幹兼管理係長	竹内聡子
大分県溪泉寮	主幹兼支援係長	中畑久美
地域生活支援センターはぎの	地域係長	高倉祐子
地域総合支援センター	支援係長	矢野有希

イ 功労者表彰

退職者、奉仕者及び寄付者に対して、理事長及び施設長が感謝状を贈呈した。

○理事長感謝状（令和 元年 6月14日辞任）

大分県社会福祉事業団 監事 宮崎泰夫

○理事長感謝状（令和 元年 9月19日寄付者）

大分県社会福祉事業団 どんぐり保護者 早田和幸氏

○理事長感謝状（令和 2年 1月10日寄付者）

大分県社会福祉事業団 八つ星の丘保護者 渡邊 徹氏

○理事長感謝状（令和 2年 3月31日退職）

大分県系口厚生園	副園長兼管理課長	渡邊 聡
大分県のぞみ園	主幹兼支援係長	深町 修三
大分県系口学園	主幹兼支援係長	中村 輝

○所属長感謝状（令和 2年 3月31日退職者）

大分県なおみ園	主幹兼看護係長	伊藤 千鶴子
大分県系口第二厚生園	主幹兼支援係長	中村 文
地域総合支援センター	支援係長	秦 道恵

ウ 全国社会福祉事業団協議会長表彰

事業団職員として20年勤続した5名及び実務研修論文入選者に対し、令和元年11月7日～8日、第53回全国社会福祉事業団大会において、全国社会福祉事業団協議会理事長から表彰された。

○永年勤続表彰

地域生活支援センターはぎの	地域課長	矢野和彦
大分県溪泉寮	主幹兼管理係長	竹内聡子
大分県溪泉寮	主幹兼支援係長	中畑久美
地域生活支援センターはぎの	地域係長	高倉祐子
地域総合支援センター	支援係長	矢野有希

○実務研究論文入選

大分県糸口学園	支援第一課長	飯野恵
大分県のぞみ園	支援員	森山浩成
大分県糸口学園	支援員	渡邊弘成
大分県日田はぎの園	支援係長	脇口和俊
八つ星の丘	看護師	生野みゆき
大分県なおみ園	主査	渡邊愛美

3 事業の実施状況

(1) 法人経営における現状と課題

ア ご利用者サービスのさらなる向上

「平成」から「令和」と元号が変わった節目の年。令和元年度は、大分県社会福祉事業団にとっても、飛躍に向けた大きな転換の年となった。これまで目まぐるしく変化してきた福祉情勢の中で、今の礎を築いてきた首藤前理事長が退任、その意志を継承し、長年ご利用者に寄り添いながら直接支援に関わってきた青木理事長が就任した。

そのような中、当法人では、有する多様な福祉サービスの拠点において、蓄積してきた専門性を活かし『ご利用者個々やご家族の望む暮らしの実現』に向け支援した。

また、精神疾患にかかる支援や医療的ケア、療育支援等、ご利用者ニーズが多様化していることから、各種委員会活動及び研修会の実施、各所属での日々のOJTなどを通して、サービスの標準化（マニュアル化）いわゆる「事業団スタンダード」の整備に取り組んだ。これにより、提供されるサービス品質のばらつきを少なくする、苦情や事故を防ぐことのできる支援体制づくりを目指した。

課題としては、児童の通所事業所で発生した虐待相当事案を挙げる。支援においては、ニーズに適切に応じられることと同時に、サービスが良質であることが重要である。事案の発生を受け、原因の究明と対応策の検討、ご家族や行政への説明、全ての所属で虐待防止研修を実施し、ご利用者やご家族の安全と安心を確保する取り組みを行い、信頼の回復を図った。

今後も、複雑多様化するニーズに対応できる専門性の獲得とサービスの質の向上に向けた研鑽、基礎となる人権意識の醸成を図り、ご利用者の笑顔や満足度への反映を目指す。

イ 経営組織体制の強化

ご利用者や地域に信頼される支援を継続して提供する中で、安定した事業運営が未来永劫継続するために、計画的に検討の機会を設けた。

「第6期中長期計画策定委員会」「人事管理・給与制度検討委員会」の開催では、経営面や人材育成等に関する諸問題についての実態把握と課題検証を行った。各所属の中長期的な事業展開についての精査や無期労働契約者の対応及び資格手当並びに資格奨励手当の要件変更等の検討により、今後の盤石な経営組織体制の整備を図った。

また、隔月で所属長経営面談座会、地学通本連絡会を開催し、各サービスの利用状況や収支状況についての進捗を把握、課題がある所属においては、改善及び職員の経営意識の高揚に向けた取り組みを本部事務局と所属が一体となって進めた。

ウ 福祉人材の育成と働きやすい職場づくり

「サービスの質の向上」では、ご利用者と環境との間に注目した調整、環境や背景に着目した支援を行うことでその達成を目指した。各所属でリハビリ支援の体制づく

りと日常生活の動線上で行うリハビリの実践、楽しみと笑顔が見られる多彩な日中活動の提供はその支援における特徴的なものとなった。

「福祉人材の育成」では、専門性の習得は、現場における習熟機会の提供や外部開催を含めた各種研修への参加により、前向きな進捗を確認できた。

また、いずれも人材が働きやすい職場が土台となることから年次有給休暇取得の促進や所定外労働の削減、子育て世代が働きやすい環境づくりについては、継続して配慮し「働くことと休むこと」の良好なバランスを保てるように取り組んだ。

さらに、新しく配置された広報担当理事のもと「選ばれる福祉の職場」を目指し、定期的な広報誌の発行やホームページの活用により、魅力ある法人運営を積極的に発信した。一般的に福祉現場の人材不足が懸念される中において、採用試験のエントリーが63名と多数であったことは、その結実であり、明るい兆しとなった。

(2) 重点方針への取り組み

ア ご利用者サービスのさらなる充実と防災・防犯体制の一層の強化

施設で生活するご利用者については、高齢化に伴う身体機能の変化が行動の制限につながっていることから、委員会活動などの検証と対応策を支援に反映した。その中でも特に、作業療法士、言語聴覚士及び支援員等による多職種協働のリハビリテーション支援の充実や楽しみながら現存する機能の維持を図るための日中活動、移乗時の安心を提供するためのリフト導入は、ご利用者の生活の質の向上にもつながった。

また、地域で暮らすご利用者支援では、幼児期、児童期、成人期及び高齢期と各ライフステージ毎に必要な支援として、早期療育から行動特性に応じた訓練、就労準備にかかる社会生活技能訓練、就労支援、就労定着支援などを段階に応じて取り入れ、地域の中での自立生活を支えられるよう努めた。

さらに、共同生活援助では、安心できる支援体制の整備を行った。ご利用者の高齢化・重度化の状況を鑑み、バックアップ機能を指定障害者支援施設に移行し、夜間の支援体制及び医療的ケアの強化を図ることができた。

加えて、「防災対策」「防犯対策」の強化では、ご利用者の『安心と安全を保全するための整備』に取り組んだ。災害有事に備えた各種マニュアルの見直しや全所属に防犯カメラを設置し、事故を未然に防げるよう体制を整えた。

イ 法人の経営組織体制の強化

65歳以上の高齢者の割合が急激に増加している日本において、介護・福祉の需要は年々増している。そのような中、社会福祉法人の果たす役割は非常に大きなものとなっており、社会福祉法人の運営安定のためには、社会的なニーズに対応した魅力的なサービス提供を実践し、信頼性が高く継続性のある支援提供が必要となる。

当法人においても「親なきあと問題」「ひきこもりの方の支援」等、個別のニーズにかかる支援に取り組んだ。高齢障がい者を優先とした介護付き有料老人ホームや高齢者と障がい児・者が同一事業所でサービスを受けられる共生型の通所介護、社会的

な課題としてクローズアップされているひきこもりの方に対する個別支援、親なきあと相談員養成研修の開催など、特有的な福祉サービスの提供に取り組んだ。

また、理事長及び業務執行理事で構成する「経営推進会議」を毎月開催し、主要事業における進捗状況等を随時確認するとともに、隔月で「所属長経営面談座会」を開催し、各所属の職員未充足等の確認と当初予算の達成に向けた進捗を共有し、都度、課題を検証することで、より安定した強靱な組織体制の確立を図った。

さらに、常にサービスの質の向上を目指すという姿勢、外部の意見を聞く姿勢の重要性を踏まえ、大分県涸谷寮において福祉サービス第三者評価の受審を行った。

ウ 専門性の高い福祉人材の育成と働きやすい職場づくり

「組織として人材を育てる」をキーワードとして、職員研修計画に沿った各種研修開催や委員会活動、各所属での職場内研修を通じた人材育成に努めた。

また、仕事と育児の両立のため、育児休業をとりやすい環境整備を継続して行うとともに、職員個々の何らかの不安や悩みについて面談等の場を設け、早期に組織的に介入することで、メンタルヘルス不調の未然防止につなげた。

さらに、急速に進化する技術革新を踏まえ、勤怠管理システムや介護ロボット等の活用について検討し、試行的な導入を始めた。令和2年度は、プロジェクトを発足させ、さらなる検討を続ける計画である。効率的かつ柔軟な発想を支援の現場に取り入れることでご利用者と働く職員への効果を期待している。

4 職員の健康管理及び福利厚生

一般定期健康診断及び30歳以上の職員に対する生活習慣病予防健診等、全職員の健康診断を実施した。また、夜勤従事者に対し、年2回の健康診断を実施した。

さらに、職員互助会活動によるレクリエーションを実施し、職員間の親睦を図った。

項目	参加人員	月日	場所
レクリエーション	161人	令和元年8月4日	宇佐市(バーベキュー)
レクリエーション	151人	令和元年10月5日	別府市(ミニバレー)
レクリエーション	128人	令和元年12月7日	別府市(ボウリング)

5 各所属の運営方針に基づく事業の成果と課題

ア 地域総合支援センター

地域生活を支える包括的サービスを提供する事業所として、子どもから高齢者までのご利用児・者が安心して日常生活を送ることができるサービスの提供を心がけた。

また、新たに開所した放課後等デイサービス「どんぐり河内」においては、信頼される事業所づくりと継続的な周知活動の効果もあり、月を追う毎に契約者・利用率ともに向上した。

さらに、就労系事業のカフェレストランや弁当販売では、増税や年度末のコロナウイルスの影響があったが、宣伝活動やインターネットの口コミ等により顧客が伸びた。

ご利用者支援において、職員による虐待相当事案が発生したことを受け、権利擁護やサービスマナーの研修を重ねてきた。今後も虐待根絶に向けた取り組みを継続し、事業所の信頼回復に努めていく。

イ 大分県溪泉寮

ご利用者の思いの実現に向け、特性や日常生活状況等を考慮した個別支援計画を作成し、多職種協働で安全・安心かつ健康な生活が送れるよう、ご本人に適した支援を行った。その中でも身体機能の維持・向上を目指した支援では、職員による生活リハビリ及び嚥下体操・口腔ケア、作業療法士による専門リハビリに取り組んだ。

また、循環型施設としての機能を発揮し、地域移行や施設移行の支援に取り組み、高齢者施設へ2名、アパートやグループホーム等へ10名の方が移行できた。

さらに、地域ニーズの掘り起こしや連携強化を目的とした地域懇談会を開催、地域のネットワーク強化につなげることもできた。併せて、生活困窮世帯の児童や家族が不在で孤食となっている児童に対して、『子ども食堂(ふらっとホーム)』を開始し、食事提供などの支援を実施した。

ウ 大分県のぞみ園

ご利用者の高齢化、重度化による状態の急激な変化に対して、日常生活支援の抜本的な見直しを行った。多職種協働の支援体制を確立し、さらなる安全・安心のある支援提供を実現することができた。

なかでもノーリフトケアを中心とした支援を定着させたことで、安全・安心に対する職員の意識がさらに高まり、転倒事故の未然防止につながった。

また、「ふれあいサロンのぞみ」を拠点に行政等と連携を図り、地域のニーズを模索し、地域で生活するご利用者のサービス向上に努めた。

人材育成については、各種プロジェクトや委員会活動を通じて、職員個々が目的に向かって前向きに取り組もうとする意識が高まり、組織力の強化及び支援力の向上につながった。

エ 大分県糸口学園

支援第一課では、親子ふれあい旅行や餅つきなど、ご利用者にとって満足度の高い生活が送れるよう特色ある日中活動に取り組んだ。強度行動障がいのご利用者には、特性に応じた環境的配慮や構造化した支援にチームで取り組んだ。

支援第二課では、児童発達支援施設としての専門的な施設機能を発揮し、30名定員を維持した。愛着障がいや強度行動障がい、発達障がい等の特性が顕著な児童に対しては、成長段階に応じた支援プログラムを作成し、自立に向けた療育を提供した。

また、児童相談所と連携した性教育プログラムでは、年齢段階に応じた健全な育成に向けた支援を提供できた。

オ 大分県糸口厚生園

ご利用者の笑顔があふれる、安全で安心かつ快適な生活環境を提供できるよう努めた。日中活動は二班体制とし、ご利用者の心身の状態に合った内容を提供した。

また、作業療法士、言語聴覚士、看護職員、管理栄養士及び支援員による多職種協働でのリハビリテーションの実施により、心身機能の維持及び向上につながった。

共同生活援助については、地域総合支援センターからの移管を受けスタートした。困りごとの相談や心身状態の把握に努めることで、安心できる生活を継続できるよう支援した。

さらに、地域のニーズの把握と福祉への理解促進のため、配食サービスを継続して実施するとともに河川及び神社の清掃等、多くの地区行事に参加することにより、地域の方々との交流を深めた。

カ 大分県糸口第二厚生園

日課と勤務の検討委員会を設置し、日課や業務内容を見直すことで、これまで以上に日中活動の時間を確保することができ、個別支援の充実につながった。

また、ご利用者個々の障がい特性を理解した健康状態の把握や不調時の早期の対応の徹底によって、前年度の353日であった入院期間は、30日と激減した。

多様化する在宅障がい者のニーズについては、その把握に努め、積極的に受け入れたことで、日中一時支援事業の利用実績は、大幅に伸びた。

業務の改善では、職員の休憩時間の見直しなども検証、業務における効率性の向上ができたことは、働きやすい職場づくりにつながった。

キ 大分県糸口通勤寮

地域生活に向けての課題解決に焦点を当て、より実践的なプログラムによる個別支援を実施し、11名のご利用者が地域生活へ移行することができた。

また、共同生活援助については、自立生活への移行を重視した個別支援を提供し、就労定着支援や自立生活援助の利用につなげ、2名の方が単身生活を始めた。

さらに、県下全域の様々な関係機関を訪問し、自立訓練の必要性や地域移行の実績、有用性等について広報活動を行い、年間を通じて定員充足を達成した。

福祉人材の育成を目的とした内外部による研修を実施したことにより、職員の支援スキルの向上と人権意識の醸成を図ることができた。

ク 大分県なおみ園

ご利用者が健康で充実した生活を送れることを支援の目標に、楽しみのある日中活動を提供した。高齢等により機能低下が見られるご利用者に対しては、専門リハビリや生活リハビリの定着を図り、身体機能の維持に努めた。

また、在宅サービスでは、児童から高齢者に対する一貫した支援を提供できる総合的な事業所として、ご利用者及びご家族から信頼される事業展開を行えるよう努めた。

防災対策については、発生が懸念される巨大地震の災害に備え、地域住民との連絡会議を開催、情報交換を行うとともに有事の対策準備を行った。防犯対策では、実際の場面を想定した防犯訓練を実施、警察署員からの直接指導を受け、職員の防犯に対する意識向上を図ることができた。

ケ 大分県日田はぎの園

ご利用者の意思を尊重した活動を支援し、地域との交流を密に深めながら、ご利用者が満足される質の高いサービスを提供に努めた。

また、療法士との連携を密に図り、ご利用者の状況に応じたリハビリを継続しながら、転倒事故防止に努めた。

さらに、共同生活援助事業においては、単身生活への移行を目的とした方から生活の安心を求める方まで、個々のニーズやライフステージに応じた望む暮らしの実現に向け、きめ細やかな支援メニューを提供した。

ご利用者それぞれの障がい特性に対応できる人材の育成を目指し、各種専門研修受講や他事業所への見学等を行い、スキルアップを図った。虐待防止に向けた取組みでは、ディスカッションの機会を多く設定するなどし、職員の人権意識向上を図った。

コ 地域生活支援センターはぎの

地域で暮らす障がいのある方が、安心して生き活きとした生活を送り続けることができるように『見通しのある支援』と『事業所内外を含めた協働性の活性化』を意識し、個々に応じた細やかな福祉サービスの提供に努めた。

また、県西部圏域新規事業展開準備室では、九重町で地域のニーズを背景とした共同生活支援事業所を運営開始する準備を整えた。今後は、農業と福祉の連携による日中活動について、行政や地域の方々と協働し、整備を進めていく。

職員の資質向上では、研修や日々のOJTを通じ、寄り添う心と高い専門性、確かな人権意識を持った福祉人材の育成に努めた。

サ 八つ星の丘

初年度に引き続き、特定施設入居者生活介護と共同生活援助、通所介護事業（共生型生活介護、共生型放課後等デイサービス）を行い、障がいを持つ方の高齢化や地域の方々のニーズに真摯に向き合い取り組んできた。

また、ご利用される一人ひとりが好きなことを気軽にできるメニューを用意し、その時々を楽しく笑顔で過ごしていただく支援を実施した。

さらに、ご家族やご自身が亡くなられたあとの相談に対応するとともに、障がいの有無や種別の枠組みを超えた幅広いサービスを提供することができた。

職員については、さらなる介護技術の習得や身体機能低下防止に取り組んだ。生涯活動のあり方の提案等、高齢者に寄り添える支援を継続して行うことができた。

資料 2

令和元年度 苦情相談の解決状況

(単位：件)

		苦情相談の内容					小計	その他	合計		
		ケアの内容に関する こと	個人・家族・交友 に関する こと	設備に関する こと	生活の不便に関する こと	行事に関する こと					
相 談	地 域		43		2		45		45		
	溪泉寮	4	49				53		53		
	のぞみ	20	20	10	20	2	72		72		
	学 園		50				50		50		
	厚生園	18	46	2	5	2	73		73		
	二 厚	1	133	4	4	13	155	15	170		
	通勤寮		42	1			43		43		
	なおみ		6			1	7		7		
	はぎの園	54	129			21	204		204		
	八つ星の丘	9	27	4	4	2	46		46		
	合 計		106	545	21	35	41	748	15	763	
結 果	解 決	事業者	地 域								
			溪泉寮	3	41				44		44
			のぞみ	20	20	10	20	2	72		72
			学 園		50				50		50
			厚生園								
			二 厚	1		4	3		8		8
			通勤寮		42	1			43		43
			なおみ		6			1	7		7
			はぎの園	42	45			4	91		91
			八つ星の丘	9	27	4	4	2	46		46
			小計	75	231	19	27	9	361		361
	決	第三者員	地 域		43		2	45		45	
			溪泉寮	1	8			9		9	
			のぞみ								
			学 園								
			厚生園	18	46	2	5	2	73		73
			二 厚		133		1	13	147	15	162
			通勤寮								
			なおみ								
			はぎの園	12	84			17	113		113
八つ星の丘											
小計	31	314	2	8	32	387	15	402			
計	106	545	21	35	41	748	15	763			
未 決		地 域									
		溪泉寮									
		のぞみ									
		学 園									
		厚生園									
		二 厚									
		通勤寮									
		なおみ									
		はぎの園									
		八つ星の丘									
計											
合計		106	545	21	35	41	748	15	763		

※「センターはぎの」は日田はぎの園と合同で開催

資料 3

令和元年度各種委員会・研修の状況

ア 各種委員会

会 議 名	開 催 年 月 日	会 議 名	開 催 年 月 日
リハビリテーション委員会	令和元年 5月21日 令和元年 7月23日 令和元年 9月24日 令和元年12月20日 令和元年 2月 7日	広報委員会	平成31年 4月11日 令和元年 5月23日 令和元年 6月19日 令和元年10月 2日 令和元年11月 7日 令和元年12月 5日 令和 2年 1月18日 令和 2年 2月13日 令和 2年 3月10日
サービス向上委員会	令和元年 5月15日 令和元年 7月18日 令和元年10月 4日 令和元年11月21日 令和 2年 2月 6日		
経営改革推進委員会	令和元年 6月12日 令和元年10月18日 令和 2年 3月 2日		
人事管理・給与制度検討委員会	令和元年 5月22日 令和元年 6月27日 令和元年 7月29日 令和元年 8月27日 令和元年10月 2日	第6期中長期計画策定委員会	令和元年10月29日 令和元年11月26日 令和元年12月28日 令和 2年 1月31日

イ プロジェクト

会 議 名	開 催 年 月 日	会 議 名	開 催 年 月 日
全国社会福祉事業団協議会九州ブロック研修会 実行プロジェクト	令和元年 6月20日 令和元年10月15日 令和元年11月15日	介護保険研究プロジェクト	令和元年 7月12日 令和元年10月10日 令和 2年 1月 9日

ウ 実践事例研修会

種 類	受 講 人 員	研 修 内 容	発 表 者	実施月日
実践事例 研修会	6 4	あいさつ	理事長	令 2 . 2 . 26
		リハビリテーション委員会 報告	糸口学園 支援係長 八つ星の丘 作業療法士	
		サービス向上委員会 報告	糸口学園 支援員 糸口第二厚生園 支援員	
		広報委員会 報告	のぞみ園 支援員 なおみ園 支援員	
		実践報告① 令和元年度実務研究 論文 [優良賞] 「強度行動障害がある方へのチー ムアプローチ〜ご家族と他職種連 携によるQOL向上へのプロセス〜」	糸口学園 支援第一課長	
		実践報告② 令和元年度実務研究 論文 [佳 作] 「働きやすい職場環境作りを目指 して〜「健康経営事業所」として の取り組み〜」	日田はぎの園 支援係長	
		実践報告③ 令和元年度実務研究 論文 [佳 作] 「業務のスリム化〜電子マネーの 導入により見えたこと〜」	なおみ園 主 査	
活動報告① 「県西部圏域の事業展開について」	地域生活支援センターはぎの 地域課長			
活動報告② 「ノーリフトケアの取り組み 〜実践の考察から〜」	のぞみ園 支援員			
活動報告③ 「定員充足に向けた広報活動に ついて」	糸口通勤寮 支援課長			

エ 事業団主催研修

(ア) 所属長・副所属長・課長研修

種 類	受講 人員	研 修 内 容	講 師	実施月日
トップマネジメント研修	21	<p>訓話</p> <p>講義 「働き方改革の動向」</p> <p>講義 「部下職員のメンタルヘルスについて」</p>	<p>理事長</p> <p>社会保険労務士 法人エストワン 代表社員 堀 勇</p> <p>医療法人ストレスケア 深川内科クリニック 副院長 深川富美代</p>	令元. 11. 22
ミドルマネジメント研修	34	<p>訓話</p> <p>講義 「ミドルマネージャーに 求められる意識」</p> <p>講義「県指導監査の留意点について」</p> <p>講義 「メンタルヘルスケアについて」</p> <p>演習 「虐待事案根絶について」 ～ミドルマネージャーとしての 行動計画～</p>	<p>理事長</p> <p>理事兼総務企画部長</p> <p>企画課長</p> <p>医療法人ストレスケア 深川内科クリニック 副院長 深川富美代</p> <p>総務企画部副部長</p>	令元. 11. 6
新任管理職研修 (前期)	5	<p>訓話 「事業団幹部職員に期待すること」</p> <p>講義 「副所属長に役割について」</p> <p>講義 「副所属長に求められるスキル」</p> <p>講義「労務管理について」</p> <p>演習 「研修のまとめ」 ～研修を振り返って、実行プランを 作成～</p>	<p>副理事長</p> <p>常務理事兼事務局長</p> <p>理事兼総務企画部長</p> <p>副部長兼総務課長</p> <p>副理事長 常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 副部長兼総務課長</p>	平31. 4. 23

(ア) 所属長・副所属長・課長研修

種 類	受講 人員	研 修 内 容	講 師	実施月日
新任管理職研修 (後期)	5	訓話 講義 「組織的なリスクマネジメントに ついて」 講義「法人及び所属の経営管理」 講義 「地域総合支援センターの虐待事案 について」 演習 「上半期を終えての総括」 ～前期に作成した実行プランの 達成度～	常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 主幹兼総務係長 副部長兼総務課長 常務理事兼事務局長 副部長兼総務課長	令元. 11. 19
新任課長研修 (前期)	8	訓話 講義 「組織(当法人)への貢献について」 講義 「新課長に求めること」 講義 「平成30年度 監査指導事項等に ついて」 「指定申請及び変更届について」 演習 「個人ワーク」研修のまとめ ～実行プランの作成～	副理事長 常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 企画課長 常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 副部長兼総務課長 主幹兼企画係長	平31. 4. 24
新任課長研修 (後期)	8	訓話 講義 「組織的なリスクマネジメントに ついて」 講義 「地域総合支援センターの虐待事案 について」 講義 「各種契約書等の作成及び管理に ついて」 演習 「上半期を終えての総括」 ～前期に作成した実行プランの 達成度～	常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 副部長兼総務課長 企画課長 常務理事兼事務局長 理事兼総務企画部長 副部長兼総務課長 主幹兼企画係長	令元. 11. 25

(イ) 一般研修

種 類	受講 人員	研 修 内 容	講 師	実施月日
新採用職員研修 (後期)	23	<p>訓話</p> <p>講義「事業団職員に求めること」</p> <p>講義「事業団各所属事業内容の理解について」</p> <p>意見発表 「半年間を振り返って(発表)」</p> <p>①採用され半年が過ぎ、今感じていることや悩みについて</p> <p>②業務の中で自ら率先して取り組んでいることや基本的な姿勢として大切にしていること</p> <p>③福祉人として、また事業団としての夢は?</p>	<p>理事長 理事兼総務企画部長 総務企画部副部長</p> <p>常務理事 理事兼総務企画部長 主幹兼総務係長</p>	令元. 9. 5
新採用職員就業 開始前研修 (令和2年4月1日 正規採用予定者)	26	<p>(本部研修)</p> <p>訓話</p> <p>講義「大分県社会福祉事業団の組織及び職員としての心構えについて」</p> <p>講義「定款及び諸規則等について」</p> <p>講義「権利擁護及び虐待防止について」</p> <p>講義「人事考課及び目標管理について」</p>	<p>理事長 常務理事</p> <p>総務企画部長 企画課長 総務企画部副部長</p>	令 2. 3. 3
		<p>(所属研修) 新型コロナウイルス 感染拡大防止策にて中止</p>	各所属	令 2. 3. 4 ～ 3. 5
一般職員研修	25	<p>あいさつ・訓話</p> <p>講義「中堅職員の役割」</p> <p>講義「事業団全体の重点事業と経営状況について」</p> <p>講義「権利擁護と虐待防止」</p> <p>講義「健康で活躍できるセルフトレーニングについて」</p> <p>グループ演習 「チームワークについて」</p>	<p>副理事長 常務理事</p> <p>総務企画部副部長 総務主任書記</p> <p>主幹兼企画係長</p> <p>医療法人ストレガ若草 深川内科クリニック 副院長 深川富美代</p> <p>主幹兼企画係長</p>	令元. 6. 26
総括育成研修	15	<p>あいさつ・訓話</p> <p>講義「総括職員の役割について」</p> <p>講義「労務管理について」</p> <p>講義「福祉情勢及び各種サービスの理解について」</p> <p>講義「事業団が展開する事業及び経営状況について」</p> <p>座談会 「職場で果たす役割について」</p>	<p>理事長</p> <p>理事兼総務企画部長 総務企画部副部長</p> <p>企画課長</p> <p>主幹兼総務係長</p> <p>常務理事 理事兼総務企画部長 主幹兼企画係長</p>	令元. 9. 3

(ウ) 専門研修

種 類	受 講 員	研 修 内 容	講 師	実施月日
人事考課 被考課者研修	23	あいさつ・訓話 講義「人事考課・目標管理制度とは」 講義「人事考課・目標管理の流れと自己 評価の方法について」 演習「自己評価をしてみよう」 ～目標管理シート・人事考課シートを使って～ グループワーク 「自己評価を振り返り、グループ内で意 見交換を行い、グループ毎に発表する」	副理事長 常務理事 総務企画部副部長 主幹兼総務係長	令元. 6.25
人事考課 考課者研修	4	理事長訓話 講義「人事考課制度上の留意点 について」 講義「評価基準について」 グループワーク 「ロールプレイングで育成面接」 「ロールプレイングの振り返り」 ～よりよい育成面接のあり方～	理事長 常務理事 総務企画部副部長 理事兼総務企画部長 総務企画部副部長 総務課主幹兼総務係長	令元. 9.12
強度行動障害 支援者養成研修 (基礎研修)	79	講義「強度行動障がいがある者の 基本的理解」 演習「基本的な情報収集と記録等の 共有」 講義「強度行動障がいに関する制度 及び支援技術の基本的な知識」 演習「行動障がいがある者とコミュ ニケーション」 演習「強度行動障がいの背景にある 特性の理解」 実践報告	実践研修修了者 指導者研修修了者 はぎの園 副園長兼管理課長 糸口学園 支援第一課長 はぎの園 支援第二課長 のぞみ園 看護係長 のぞみ園 支援員	令元. 4.16 ～ 4.17 令元. 10.23 ～ 10.24
強度行動障害 支援者養成研修 (実践研修)	13	講義 強度行動障害と生活の組立て 「親からの提言」 演習「危機対応と虐待防止」 演習「環境調整による強度行動障害 の支援」 演習「障害特性の理解とアセスメント」 実践報告 「行動障害のある者へのチーム」 演習「記録に基づく支援の評価」	舎川 正和 氏 垣添 元子 氏 指導者研修修了者 はぎの園 副園長兼管理課長 はぎの園 支援第二課長	令元. 9.25 ～ 9.26

(ウ) 専門研修

種 類	受講人員	研 修 内 容	講 師	実施月日
親なきあと 相談員養成研修	23	講義「親なきあと相談室について」 講義「障がいのある子の家族が知っておきたい親なきあと」 講義「親なきあと問題について」 講義「年金制度について」 講義「親なきあとに関わる税について」 講義「相続・遺言・成年後見制度について」 講義「ライフプランにおける親なきあとの収入と支出について」 講義「親なきあとの相続について」 講義「日常生活自立支援事業の理解」 講義「介護保険制度についての理解」 講義「親なきあと相談室活動報告」	主幹兼企画係長 渡部 伸 氏 企画課長・主幹兼 企画係長 堀 勇 氏 蔵前 達郎 氏 胤末 理恵子 氏 三木 誠治 氏 三木 誠治 氏 大分県あんしんサ ポートセンター 主事 県高齢者福祉課 課長補佐 地域総合支援センター 支援係長 湊泉寮 主任支援員 のぞみ園 支援員 地域生活支援センター はぎの 地域係長	令元. 8.20 令元. 9. 6 令元. 9.17 令元.10.30
ライフプラン 研修	11	あいさつ 講義「人生100年シナリオ」 ～老後のリタイアメントプラン： 暮らし方・働き方・資産形成に ついて～	常務理事 株式会社 ヒューマンクリエイト 代表取締役 三木 誠治 氏	令2. 2.12
ユニバーサル マナー検定 (3級講座)	244	あいさつ 講義「障がいとは何か」 「優しいおもてなしとは何か」 グループワーク 「互いの意見を共有」	理事兼総務企画部長 株式会社ミライロ 田中 利樹 氏	令元. 8. 2 令元. 8.28 令元. 8.29

(エ) 特別研修 (その他の派遣研修)

種 類	受講人員	研 修 内 容	主催	場 所	実施月日
相談支援従事者 初任者研修 2日間コース 6日間コース	5 5	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援の心得 ・個別支援計画とサービス等利用計画の関連性 ・相談支援の演習 ・自立支援協議会の役割 	大分県	大分市	令元. 7. 18 令元. 7. 19 令元. 8. 8 令元. 8. 9 令元. 10. 23 令元. 10. 24
相談支援従事者 現任研修	2	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉の動向について ・地域生活支援事業について ・地域移行支援について ・相談支援の基本姿勢及びプロセスについて ・協議会について ・演習「障がい者ケアマネジメントの実践について」 ・演習「スーパーバイズ」 	大分県	大分市	令元. 11. 15 令元. 12. 19 ~ 12. 20
サービス管理 責任者研修 (基礎)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者の役割 ・アセスメントやモニタリングの手法に関する講義 ・サービス提供プロセスの管理に関する演習 	大分県	大分市	令元. 8. 21 令元. 8. 28 ~ 8. 29 令元. 9. 25 ~ 9. 26 令元. 10. 2 ~ 10. 3
(更新)	9	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉等の動向に関する講義 ・サービス提供の自己検証に関する演習 			平31. 1. 30 ~1. 31
会計実務講座 (中級) (通信課程)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・会計処理 ・決算書の作成 ・税務 ・予算制度 ・内部統制 	全国社会福祉協議会	神奈川県	令元. 11. 20 ~11. 22

(オ) 大分県社会福祉介護研修センター主催研修

種 類	参加 人員	研 修 内 容	実施月日
社会福祉施設 等中堅職員研 修A	3	・業務課題の解決と実践研究 ・福祉サービスの基本理念と倫理	令元. 5. 8 5. 9
排泄初級 セミナー	1	・排泄ケアの基本について学び、人材育成とネットワークを広げ排泄 ケア全体の質の向上を図る。	令元. 5. 18 5. 19 6. 22 6. 23 8. 21
摂食・嚥下 セミナー	4	・「食」に関して何らかの問題を抱えている利用者に対し、摂食・嚥 下機能の専門的知識・技術を活用し、チームとしての質の高い支援 を提供できる人材を育成する。	令元. 5. 24 6. 27 7. 21 7. 31 8. 21
社会福祉施設 等中堅職員研 修B	3	・チームアプローチの多職種連携・地域協働 ・中堅職員としての能力発揮	令元. 5. 30 5. 31
就労系サー ビス事業所研修 会	2	・障がい福祉サービスを取り巻く状況及び雇用情勢について ・就労系サービス事業の本旨及び就労定着支援について ・就労系サービス事業所から一般就労した当事者の声	令元. 6. 4
社会福祉施設 給食担当職員 職員研修 ・調理員コース ・栄養士コース	13	・様々なとろみ剤の活用方法と調理方法について知識を高める。 ・栄養ケア計画の立て方や記録の仕方等を学ぶ。	令元. 6. 13 6. 18
社会福祉施設 等指導監督職 員研修	3	・効果的なOJT推進に向けて ・直接指導のポイント	令元. 7. 9 7. 10
福祉用具・介 護ロボット等 研修	1	・福祉用具・介護ロボットの種類、使用方法とその効果について	令元. 7. 24
障がい児(者) 居宅介護職員 養成研修	2	・障がい者が地域で暮らし働ける社会づくり ・認知症及び精神障がい者の疾患別理解とケアについて	令元. 9. 12 9. 20
社会福祉施設 等看護担当職 員研修会	8	・感染症対策の基礎と応用について	令元. 9. 17
社会福祉施設 等介護職員中 堅研修	2	・根拠に裏付けされた専門知識とコミュニケーション能力を発揮する ための実践的技術の習得。	令元. 9. 18
障がい児(者) 施設職員研修	3	・障害のある人の意思決定支援の具体的な内容や支援方法等を明らか にし、日々の支援の中にシステムを組み込むことが求められている サービス提供の創意工夫から質の向上に繋げることを目指す。	令2. 1. 30 1. 31